消耗品のご案内

培地チューブセット



セット内容	供給用チューブ 5本 廃液用チューブ 5本 培地供給ボトル用キャップ 1個 培地廃液ボトル用キャップ 1個
品番	CP-MT(LS)
滅菌	電子線滅菌済(チューブのみ)
推奨交換頻度	培養終了毎

部品名	材質	滅菌方法		
培地分注廃液用ノズル	ステンレス	オートクレーブ		
	+			
部品名	材質	交換頻度		
フィルター(HEPA用)	- 年に1回**			
※1年に1度の定期点検の際に交換	致します。(年間保守契約を約	・ 発結した場合は、サービス料に含む。		

その他 消耗品

供給ボトル用キャップ 廃液ボトル用キャップ ※キャップはご使用前にオートクレーブにて滅菌処理を行って下さい。

注:本装置以外でのご使用はお控え下さい。

■ その他記載されている会社名、製品名、商品名は各社の商標または登録商標です。

■ 製品改良のため、仕様の一部を予告することなく変更することがあります。また、商品の色調は印刷のために実物と異なる場合もありますので、あらかじめご了承く ださい。

株式会社ジェイテックコーポレーション

この内容は、2018年9月現在のものです。

株式会社 ジェイテックコーポレーション

(接着細胞) 用 自動培養装置



大阪府茨木市彩都やまぶき2丁目5番38号

TEL: (072)655-2786 (営業部) / FAX: (072)643-2391

URL: https://www.j-tec.co.jp

JTEC CORPORATION

株式会社 ジェイテックコーポレーション



▶ 土日祝出勤の削減:自動で培地交換

▶ コンパクトな卓上サイズ:回転テーブル式採用により省スペース化の実現

▶ 細胞へのストレス低減: CO₂インキュベータ内で自動で培地交換

▶ コンタミネーションリスクの低減: HEPAフィルターによりクラス100相当のクリーン環境

▶ クロスコンタミネーションリスクに配慮:複数種類の細胞を同時に培養可能

▶ 細胞のガス特性評価可能: 低酸素雰囲気へのコントロールが可能



重量:約80kg



自動で培地交換

- ▶ CO2インキュベータから取り出すことなく培地交換可能
- **▶ ペリスタポンプ式で、送液速度0.1~1.0ml/secで設定可能**
- ▶ 2本のノズルで培地交換(吸引ノズル【廃液】と供給ノズル)
- ▶ 吸引ノズルをディッシュ底面付近まで近づけることで、廃液をほぼ吸引
- ▶ ピペッティング操作可能
- ▶ 吸引ノズルの洗浄可能で、クロスコンタミネーションを防止

ディッシュ最大収容枚数

- ▶ 100mmディッシュ : 24枚 (回転テーブル1枚あたりディッシュ6枚収容可能)
- **▶ 60mmディッシュ : 32枚 (回転テーブル1枚あたりディッシュ8枚収容可能)**
- ▶ 4段の回転テーブルで省スペース化を実現し、メンテナンス性にも配慮した構造を採用
- ▶ 必要に応じて、回転テーブルの枚数を決めることが可能
- ▶ 各ディッシュをナンバリング管理するので、試料数が多くても安心



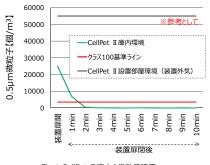


Fig.1 CellPet II 庫内の微粒子評価

HEPAフィルター搭載

- ▶ クリーン度 クラス100相当を維持した環境
- ▶ 外気のホコリやカビなどの細菌から細胞を守る
- ▶ 扉閉後2分以内でクラス100相当に到達
- ▶ コンタミネーションリスクの低減



培養日数:7日間

HepG2細胞

iPS細胞 資料提供:株式会社iPSポータル

Fig.2 CellPet II を用いた培養細胞画像



応用例

- ▶ MED64*用の培養容器にも対応可能
- ▶ 培養後はそのまま測定可能
- ▶ お客様の使い方に合わせて、カスタマイズ可能

※「MED64」はアルファメッドサイエンティフィック社製(http://alphamedsci.com/)の商品になります。

簡単な操作でスケジュール管理

- ▶実行したいディッシュをセットし、開始時間を指定するだけ
- ▶送液スピードや、ピペッティング回数など詳細設定も可能

<詳細設定項目>

- ▶分取ノズルの位置調整値
 ▶分注ノズルの位置調整値
 ▶ピペッティングノズルの位置調整値
- ▶分取ポンプ速度 ▶分注ポンプ速度 ▶分取倍率 ▶ピペッティング量 ▶ピペッティング回数
- ※上記以外の項目に関しては、ご相談下さい。

低酸素雰囲気下での培地交換も可能 (特別仕様)

- ▶ 開始から終了まで低酸素の状態を保ったままの培養が可 能であるため、細胞の特性評価に貢献
- ▶庫内の酸素濃度をコントロールすることで、溶存酸素濃 度のコントロールも可能
- ※溶存酸素濃度は、溶液の種類や温度により異なりますので、 お客様ご自身で条件出しを行って下さい。

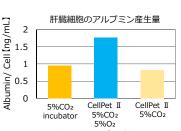


Fig.3 肝臓細胞のアルブミン産生評価

電源電圧/電流	AC100V 5A 50/60Hz (許容範囲:±10%以内)				
消費電力	500W	漏電ブレーカー 定格感度電流30mA			
対応培地種類数	1系統				
培地ノズル部	取外し式/オートクレーブ対応ノズル 培地供給側と廃液側のノズル先端高さ段差は7mm				
本体操作パネル	タッチ式3.5インチカラー				
温度制御設定精度及び制御精度	0.1℃/±0.5℃	温度センサ Pt	100 (Clas	ss-A)3線式	
CO ₂ 制御設定精度及び制御範囲	0.1%/±0.5%	CO₂センサ及び	制御範囲	IRタイプ/0~20%	
湿度コントロール方法	加湿パッドによる自然蒸発方式				
使用温度/湿度範囲	2 4 ℃/10~70%	保存温度/湿度	菱範囲 -10	0~+70℃/10~80%	
付属品	電源ケーブル(長さ2m)/LANケーブル(長さ2m)/制御用PC*1/ 供給および廃液用ボトル(1 ℓ 各1本[計2本])/専用ノズル1式/ 培地チューブセット1式/ノズル部フタ/テーブル専用治具及びホルダ				

※1 制御用PC1台で、CellPet Ⅱを最大5台まで接続及び制御可能です。

JTEC

培地温度管理ユニット (オプション)



- ▶保冷庫/加温(温水)ユニットで構成:4℃で保管/37℃で供給
- ▶ 培地成分グロスファクターの失活を抑制:待機中は、4℃の保冷庫で保管
- ▶ 培地交換と同期した培地温度制御: 培地交換開始前から温めスタート

電源電圧/電流	AC100V 5A 50/60Hz (許容範囲:±10%以内)
消費電力	5 0 0 W
外形寸法	保冷庫部 W330mm x D400mm x H450mm ヒーター部 W210mm x D350mm x H300mm
	ヒーター部 W210mm x D350mm x H300mm
製品構成	保冷庫部、ヒーター部